

提出日 令和 4年 2月 18日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
2021年度漢字まなび活動助成制度 活動報告書

団体名：特定非営利活動法人安井息軒顕彰会

代表者名：齋藤義輝

下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

1. 活動名	みやぎき三計塾（安井息軒著「論語集説」を読む）		
2. 活動日 活動期間	令和3年10月3日、10月24日、11月7日、11月21日、11月28日、12月19日 の延べ6回 午前10時～午前11時45分		
3. 活動場所	宮崎市安井息軒記念館研修室		
4. 活動目的	安井息軒の著作「論語集説」を講師と一緒に読みながら、漢字に親しみ、安井息軒の学問を追体験する。		
5. 対象	安井息軒及び論語に関心がある一般の方		
6. 参加費	無料		
7. 参加人数	108	名	内訳（小学生 名、中学生 名、高校生 名、一般108名）
8. 活動結果 (自由記述・ 写真貼り付け 等可)	<p>・息軒の「論語集説」を丁寧に読み解いていく講座で、初回に古典を解釈する上で欠かせない注釈書の成立の歴史と、古注「論語集解」、新注「論語集註」、「集疏」など、その他の注釈書の説明もなされた。息軒は、古注に重きを置きながらも良いと思う解釈があれば、そこに拘らずに取り入れた学者でこれらを理解したうえで、息軒の解釈を読み解いていくというものであった。「集解」や「集疏」の解釈がまず先にきているので、それを読み解き、次いで息軒の解釈を読んでいく。一字一句その文字が持つ意味や使い方を示しながら、何度も反復しつつ全体の意味を説明してもらえるので、非常に分かり易い講座であった。</p> <p>・受講生は、「理論的で筋道がとおり、素晴らしい講座でした」、「よく研究、勉強されて、内容に興味があり、聞いていて興味が湧いてきた」、「一字一字の困難な論語を丁寧に説明に、漢字の示す意味が少し理解できた」、「論語や漢文についてもっと学びたい」、と高評価であった。</p> <p>・次年度についても「回を重ねるごとに、漢文の読み方や『論語』の内容の深さに新たな発見があって、来年度もぜひ継続して欲しい」との受講生からの要望が多かった。</p> <p>・主催者としても、貴検定協会の支援を得て、次年度も地元大学の漢学のエキスパートである山元宣宏先生を講師とした事業を企画していきたい。</p>		



以下の資料を必ず添付して申請してください。

- 【様式2-2】漢字まなび活動助成制度 収支決算書
- 収支決算書に記載した費目の、領収書のコピー(折り曲げず、A4用紙に張り付けてご提出ください)

・複数ページにまたがっていただいても結構です。

・本報告書の内容は、当協会ホームページ等で公表します。写真等は公表しても差し支えないものをご提供ください。

## 書類の送付先

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 「漢字まなび活動助成」係  
郵送：〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
メール：planning@ic.kanken.or.jp